

あかちゃん広場について

リーフでは、去年度から0才から1才半までのお子さんを対象に『赤ちゃん広場』を月に1回開催しています。

赤ちゃん広場は、年齢の高い子どもがいるところでは少し遊びにくい月齢の小さいお子さんとそのお母さんがゆったりと過ごし、お母さん同士が知り合えるきっかけになるようにという思いから始めました。来られたきっかけは、「近所に自分の子と同じくらいの子どもがいなくて」「まだあまり外に出ないので、他のお母さんと知り合う機会がない。」「引越してきたばかりでこの辺のことは知らなくて……」などです。始めた当初は来られる方が少なかったのですが、堺市の『さかいHUGはぐネット』で赤ちゃん広場の情報を配信してもらったことで、現在では定期的に利用してくれる方が増えています。また赤ちゃん広場に来たことがきっかけで、年齢が高い子も遊んでいる『あそびの広場』やパパとお子さんと遊ぶ『パパと遊ぼう』に参加して下さるようになった親子も多いです。

広場での赤ちゃんの様子は、お

もちゃで遊んでいる赤ちゃんがいれば、部屋の中をハイハイで冒険している赤ちゃん、ゴロゴロと寝ている赤ちゃんと本当にそれぞれです。その近くでお母さん方は、お子さんと一緒に遊んでいたりと、お母さん同士で子育ての話をしたりして過ごしています。話の内容は、お風呂の入れ方や、離乳食、予防接種のことなど、他のお母さんはこんなときどうしてる？という日頃の気になることが中心です。特に初めてのお子さんのときにはほんの少しのことでも心配になりがちです。そこで他のお母さんからアドバイスをもらったり、「大丈夫」と言ってもらったり、ときには一緒に心配してもらったりすることで、お母さんも安心して子育てできるようになるみたいです。

子ども、特に赤ちゃんの成長はめざましいので、赤ちゃん広場に來ているうちに、眠って過ごしていた赤ちゃんが、お座りやつかまり立ちをし、歩けるようになっていく様子を見ることが出来ます。そして、赤ちゃんが成長していくと同時に、子育てで不安そうにしていたお母さんにも余裕が出てきて落ち着いて関わられるようになるなどお母さん

自身にも変化があります。リーフに来てくださったことで、人と人がつながりあうきっかけになり、子育ての息抜きができたり、子育てが面白いと思えたりする場になればいいなど、事業を行っています。そして、子どもさんやお母さん、お父さんが変化成長していくともに、私たちスタッフも成長していきたいと思っています。

(福本・林)

